

「わがまち再発見！」

陶山 訥庵先生

生誕三五〇年祭(2)



陶山訥庵先生の経歴書(宗家文庫史料)

対馬市教育委員会 文化財課

0920(54)2341

んでいるイノシシとシカでした。平地の少ない対馬では畑

(畠)は、山のすそ野(ふもと)のほか、斜面も草木を焼きはらって(焼畑、コバ)作物をつくりました(陶山先生は山ばた、段ばたといっています)。そこへ、一年を通して出てくる野生のイノシシがもたらす被害は、はかりしれず果物から野菜、サツマイモ、それにムギ、コメ、マメ類にいたるまで、農作物のすべてにおよんでいました。

その被害をできるだけ少なくするため農民は、畑の回りにサクを作り、そばに小さな番小屋をたてて、その中でひと晩じゅう朝まで見はりをしてなければなりませんでした。

雨風の夜はイノシシは特に活発に動くので、しっかりと見張りをしなければならなかったといえます。そのために農民は、このイノシシよけのサク作りに要する「手間」と

「イノシシ追い」のために疲れはて昼間のはたらきにも差しかえるありさまでした。農民のこのような実情をよく知っていた庄右衛門(訥庵)は、すでに少年のころからイノシシ退治のことを考えていたといえます。

人間はその長い歴史のなかでは、火山の噴火や地震、洪水など、大自然の災害に悩まされてきましたが、その一方でまた野生動物から身を守るたたい、さらに人間同士がたたかう、いくたの戦争の歴史もありました。

今から300年前の対馬、

ここでの最大のたたいの相手といえ、それは野山にす

すなわち、訥庵先生と同じ時代に生きた古藤文庵(1)という人が書いた、先生に関する一番早い時期の伝記で、『訥庵先生事記』(2)という本の中に「(庄右衛門が)イノシシとシカの害はとり除かなければ(退治しなければ)、島の人たちの生活はどうにもならないと考えるようになったのは、16歳のころからだ」と聞いている」と書いてあります。

(1) 対馬藩のお医者さんで訥庵先生の最期を看とったという人。
(2) 先生が話したことや行なったことなどを聞いて作った伝記。

農林課コ-1-

しいたけ栽培技術講習会

(初級編・中級編)の開催について
長崎県では、しいたけ栽培の技術向上など人材の育成を目的に、次の通り講習会を開催いたします。

講習会の内容

1. 初級編(基礎編)

【講義部門】 外部講師による講義

- ・ しいたけの生態や栽培技術における一般的な知識(60分)
- ・ しいたけの栽培をはじめめるための経営上の心得(50分)

【実習部門】 豊富な経験を持つ生産者による講義

- ・ これまでの経験に基づく経験談(30分)
- ・ 効率的な栽培技術を習得するための実習(90分)

2. 中級編(実践編)

【講義部門】 外部講師による講義

- ・ しいたけ栽培経営の基礎(120分)

【実習部門】 新規参入者ほだ場での実習

- ・ しいたけ栽培の適期作業の実習(90分)
- ・ 新規参入者意見交換会(30分)

講習会の日程等

- ・ 初級編 9月29日(土) 10時~15時
- ・ 中級編 9月30日(日) 10時~15時

・ 場 所 中対馬総合開発センター(峰町佐賀)

その他

- ・ 参加費無料(昼食は各自用意下さい。)

【問い合わせ】

対馬地方局林業課普及班(担当 吉岡・銭坪)

0920(52)0318